

2023年3月12日(日)

日本キリスト教団 **久宝教会**
第65巻第47号(通算3329号)
教会設立 1959年6月14日

〒581-0072
大阪府八尾市久宝寺6丁目7-10
TEL 072-992-2131 FAX 072-992-2135

主任担任教師・牛田 匡 牧師
担任教師・水谷 憲 牧師
隠退教師・小林 達夫 牧師

しゅうほう 週報

教会標語

かみさま ひと とも
神様がすべての人と共におられる
あかし きょうかい
ことを証ししていく教会



ホームページ「久宝教会」
(ウェブサイト)
<http://www.koinonia.or.jp/kyuhokyokai>
【連絡先(牛田)】090-9161-4027
kyuho-church@koinonia.or.jp

郵便振替：00980-5-212130 「日本基督教団久宝教会」
【集会案内】こどもの礼拝：毎日曜 10:00-10:20 何かお悩みがありましたらご遠慮なくご相談ください
主日礼拝：毎日曜 10:30-11:30 小さい子どもたちも、いつでも歓迎いたします。

丈夫な人には医者はいらないが、具合の悪い人には、必要なのだ。実に、私が来たのは、「正統派の人」を招くためではなく、「道をふみはずした者」を招くためである。(マルコによる福音書2:17)

レント (受難節) だい しゅうじつれいはい 第3主日礼拝

れいはい
《礼拝はインターネットで中継配信いたします。ホームページにてどなたでも
しちよう
ご視聴いただけますので、それぞれの場所で共に礼拝をしていただけます》

ぜん そう もくとう ちよさくけんしやうめつ
前奏 (黙 禱) AVE VERUM CORPUS (©著作権消滅)

まね ことば しへん へん せつ
招きの詞 詩編 95編 1-3節

さんびか ばん にな じゅうじか せつ
賛美歌 21-305番「イエスの担った十字架は」(1-3節) (©JASRAC)

しやうとう ことば
消灯の詞

さんびか ばん みちび ちよさくけんしやうめつ
賛美歌 21-467番「われらを導く」(©著作権消滅)

せいしよ しょつ き しょう せつ
聖書 出エジプト記 17章 1-7節

いの
お祈り

さんびか ばん ちよさくけんしやうめつ
賛美歌 21-306番「あなたもそこにいたのか」(©著作権消滅)

メッセージ 「岩を打つ。水が出る。」 岡嶋 千宙 伝道師

さんびか ばん くる なや ちよさくけんしやうめつ
賛美歌 21-526番「苦しみ悩みの」(©著作権消滅)

しゅいの ばん てん わたし ちち きやうだんさんびかかいていいんかい
主の祈り 21-62番「天にいます 私たちの父」(©教団讚美歌改訂委員会)

ささげもの
献げ物 (*)

はけん ばん かみ めぐ う せつ
派遣 21-91番「神の恵みゆたかに受け」(1節のみ) (©JASRAC)

しゅくふく ばん ちよさくけんしやうめつ
祝福 岡嶋 千宙 伝道師

こうそう ばん ちよさくけんしやうめつ
後奏 アーメン コーラス (21-40-6番) (©著作権消滅)

ほうこく ページ さんしやう
報告 (4頁をご参照ください)

《お隣と間隔をあけて、席にお座りになったままで礼拝にご参加ください》

* 「献げ物 (献金)」は参加費ではございません。

うけつけ けんきんばこ ようい かた ささ
受付に献金箱がございます。ご用意のある方のみ、お献げください。

招きの詞 詩編 95 編 1-3節 (聖書協会共同訳©日本聖書協会)

¹ さあ、主に向かって、喜び歌おう。

救いの岩に喜びの声を上げよう。

² 感謝のうちにその前に進み

賛美と共に喜びの声を上げよう。

³ まことに主は大いなる神

すべての神々にまさる偉大な王。

しょうとう ことば
消灯の詞 (参照：ヨハネによる福音書 12 章 35, 36 節)

ししきしゃ さま い
司式者 イエス様は言われます。

くらやみ なか ある もの じぶん ゆ
「暗闇の中を歩く者は、自分がどこへ行くのかわからない」

みんな ひかり こ ひかり しん
「光の子となるために、光を信じなさい」

ししきしゃ さま さいご でし いの
司式者 イエス様は最後まで、弟子たちのために祈ってくださいました。

しょう せつ
聖書 出エジプト記 17 章 1-7節 (聖書協会共同訳©日本聖書協会)

¹ イスラエル人の全会衆は、主の命によりシンの荒れ野を出発し、旅を重ねて、レフィディムに宿営した。しかし、そこには民の飲む水がなかった。² 民はモーセと争いになり、「飲み水をください」と言った。モーセは彼らに言った。「なぜあなたがたは私と争うのか。なぜ主を試すのか。」³ しかし、民はそこで水を渴望し、モーセに対して不平を述べた。「私たちがエジプトから上らせたのは何のためだったのですか。私や子どもたちや家畜を渴きで死なせるためだったのですか。」⁴ そこでモーセは主に叫んだ。「私はこの民をどうすればよいのでしょうか。彼らは今にも私を石で打ち殺そうとしています。」⁵ 主はモーセに言われた。「民の前を通り、イスラエルの長老を何名か一緒に連れて行きなさい。ナイル川を打ったあなたの杖も手に取って行きなさい。⁶ 私はホレブの岩の上であなたの前に立つ。あなたがその岩を打つと、そこから水が出て、民はそれを飲む。」モーセはイスラエルの長老たちの目の前でそのとおりに行った。⁷ そして、モーセはその場所を ^a マサと ^b メリバと名付けた。イスラエルの人々が、「主が私たちの間におられるのかどうか」と言って、モーセと争い、主を試したからである。

(脚注 a : 「試し」の意、b : 「争い」の意)

聖書 創世記 6章 5-22節

今回のお話は、「ノアの箱舟^{はこぶね}」でした。この洪水物語は聞いたことがある人も多いのではないのでしょうか。この天地を創造し、人間や全ての生き物を創られた神様が、地上に人間の悪がはびこったために、人間を創ったことを悔やみ、大洪水によってすべてのものを地上から滅ぼそうとした。しかし、その中であっても正しい人であったノアの家族だけは、事前に箱舟を造るように命じられ、動物たちと共に箱舟に乗って難を免れたという物語です。ですが、そもそも時間も空間も超えて、無から全世界を創造することの出来る神様だったら、気に入らなくなったのであれば、この世界を白紙撤回して、またやり直すことも出来たはずです。にもかかわらず、そうはされなかったのは、この物語が裁きによる破滅の物語ではなく、世界の再創造、命の祝福の物語だからです。

ノアに建造が命じられた箱舟は、長さ 150m×幅 25m×高さ 15m というとても大きなものでしたが、これは預言者エゼキエルが幻の中で見た新しいエルサレム神殿の大きさです。ですから、これは「世界の破滅から全ての命を救うもの」「世界の回復が始まる所」として、神殿が暗示されていると理解することが出来ます。そして大洪水の水が引いた後、新しくされた大地に箱舟から降り立ったノアたちに対して語られた神様の言葉は、世界のあらゆるものを創造され「それらは極めて良かった」（創世記1：31）と言われた神様が、人間たちに語った「産めよ、増えよ、地に満ちよ」と全く同じ祝福の言葉でした。

現代では、人間によって地球環境それ自体が持続不可能となりつつあります。それを聖書は「地上には悪が満ちていた」と表現していました。しかし、だからと言って、そこで終わりではありません。それでも最後に残るものがある……。洪水の中に箱舟があり、大雨の後に虹がかかりました。命の神の御心は世界を創造し続けることであり、命が営まれ続けることです。「希望は失望には終わらない」（ローマ5：5）。光は暗闇の中でこそ輝いています。そしてその光は、たとえ小さくても暗闇の中に飲まれてしまうことはありません。受難への道を歩んだイエス・キリストは、十字架で殺されましたが、その命はそこで終わらずに、死から引き起こされ、今もなお世界中に広がり、生き続けています。「それでも最後に残るもの」……。命の神が与え、備えて下さる希望に信頼して、私たちは今日もここから歩み出していきます。

毎週の「メッセージより」は、ウェブサイト等にも順次掲載されています。

YouTube



Facebook



LINE 公式アカウント



◎ 先週の報告 3月5日 受難節第2主日礼拝

主日礼拝出席
献金

大人5名
大人5,000円

中継動画再生数11回
感謝

◎次週 2023年3月19日(日) 受難節第4主日礼拝

(今年の「レント」(受難節・四旬節)は2/22~4/8です。レントの期間は、イエス様の生涯や十字架の意味、イエス様に従うとはどういうことかを考える時です)

招きの詞 エレミヤ書 31章 33b-34節

聖書 コリントの信徒への手紙II 3章 1-18節

メッセージ 「命に向き直る時」牛田匡牧師

賛美歌 21-303番(©P.D.)、21-406番(©教団讃美歌委)、21-531番(©P.D.)、

礼拝はインターネットで中継いたします。

◎お知らせ

- ・大阪府の新型コロナ警戒信号は、「黄色」→「緑色」に変更されましたが、感染症予防には引き続き注意して、それぞれの方が参加しやすい形で礼拝にご参加ください。「週報」や「メッセージ(全文)」はホームページからダウンロードしていただくことができます。中継録画のメッセージ部分のみをカットした動画を、YouTubeでご覧いただくことも可能です。

- ・3月18日(土)14時~16時に大阪南YMCAにて、リレートークと座談会「あなたの居場所はここにある~現代の生きづらさを考える~」が行われます(大阪キリスト教連合会・大阪南YMCA共催)。オンラインでの参加も可能ですので、お申込みの際に「オンライン参加希望」とお申込みください。参加費は無料です。

中学生や高校生から大人の方まで、このテーマにご関心のある方は、どなたでもご参加いただけます。下記のQRコードより、お申込みください。



◎ 次週以降の行事予定

| | メッセージ | 行事 |
|------|-------|-----------------|
| 3/19 | 牛田牧師 | |
| 3/26 | 水谷牧師 | 誕生者祝福式・おにぎり支援 |
| 4/2 | 岡嶋伝道師 | 教会を考える会 |
| 4/9 | 牛田牧師 | イースター礼拝・ユーカーリスト |

大阪YMCA
大阪キリスト教連合会・大阪南YMCA共催 キリスト教オープンセミナー

みつかる。つながる。よくなっていく。

あなたの居場所はここにある

~現代の生きづらさを考える~

みなさんは苦しんだり悩んだりしていることはありませんか？
現代は若い人にとってますます生きづらい世の中になりつつあります。
悩みや苦しみの中にいる中学生・高校生をはじめとするユースの皆さん、
保護者の方や彼らをまわりで支える方のご参加をお待ちしています。
(参加者の方に無理に発言を求めることはありません。話を聴くだけでも歓迎します)。

第一部：リレートーク
ユース世代(高校生・20代)の3人から話を聴いて、生きづらさつきあっていたためのヒント、また、居場所を見つけるためのヒントにしましょう。

第二部：座談会
ユースを支えてきた3人から、大人ができること・今悩んでいるユースの人にとってほしいことについて話します。

・吉田正義さん(特定非営利活動法人子育て運動「えん」事務局長)
・杉浦絵理さん(YMCA学院高校教員、元京都市ユースサービス協会職員(ユースワーカー))
・福島義也さん(YMCA学院高校宗教科講師、河内長野みぎわ教会牧師)

日時 2023年3月18日(土)14:00~16:00(13:30受付開始)

内容 第一部 ユースによる生の声(リレートーク)
第二部 ユースとユースを支える人たちの座談会

会場 大阪南YMCA(大阪市天王寺区南河堀町9-52、JR天王寺駅北出口徒歩5分)
及びオンライン*お申込の方には後日参加方法をご案内いたします

参加費 無料
*中学生・高校生から大人の方までテーマにご関心のある方はどなたでもご参加いただけます。

申込 お申込みフォーム <https://forms.gle/YKbSHFA88z5BbAYG8>
または、大阪南YMCA電話06-6779-8370(担当:川端・矢島)

▼お申込みフォーム